



非常時に備えて・・・

先週の授業参観にはたくさんお越しいただき、ありがとうございました。ちょうど、参観日が開かれた1月17日の28年前、阪神淡路大震災が起きました。早朝、突然の大災害で、多くの死傷者が出ました。現在の科学では、地震を未然にくい止めることはできません。だからこそ、被害を最小限にくい止め、人命を守ることが大切です。ふだんからの備えが大切です。この日、午後から、学校では、大規模な地震を想定し、避難訓練を行いました。

訓練地震のサイレンと放送に続き、まず、机の下にもぐるなど、自分の身を守る行動を行いました。そして、揺れが少し収まったと仮定し、教員が避難経路の安全を確認し、運動場に避難しました。頭を守りながら運動場に全校生が整然と集まりました。大変素晴らしい行動ができました。

東南海・南海地震など大きな地震では、津波による被害も想定されています。金楽寺小学校でも、絶対安心だとは言えません。津波の場合には、しっかりした建物の3階以上への避難が求められます。金楽寺小学校では、新校舎や耐震化工事を済ませた西校舎の3階、4階への避難を行います。これも、順調に進み、あらかじめ決められている全ての場所から避難完了の連絡がそろいました。万が一、校舎の被害が認められ、避難が難しい場合は、隣接する企業の免震構造の新社屋への避難も想定しています。

大きな災害時は、各家庭でも大きな混乱が生じるでしょう。そんなとき、最も気になるのがお子さんやご家族の安全でしょう。学校では、命を最優先し、最大限の対応をしていきます。まさかの時でも、落ち着いて行動していただくようお願いいたします。

また、大規模災害時には、長期にわたる避難生活も予想されます。電気やガス、水道の途絶も考えられます。金楽寺小学校には、昨年、応急給水栓が設置されました。地域が断水状態に陥ったとき、本管から水を供給できるよう整備されたものです。正門の南側に給水栓があります。ホースなど設置に必要な道具は、運動場バックネット横のベンチ型の収納箱に入っています。非常時に使えるよう、昨年、地域の方の防災訓練時にも試してもらっています。また、尼崎市の災害時に活用するための毛布などの備蓄品も少しずつ、補充整備されてきています。災害は起こってほしくはありませんが、万が一の時、知っておくと少しは安心できるかと思えます。



収納箱から機材を出す



応急給水栓にホースをつなぐ



ホースをのばし蛇口をつける



コックをひねり、給水する



自助（自分を守る）
共助（地域で守る）
公助（国・県・市・町が守る）

<給食週間>

今週は、給食週間です。食の大切さを知るとともに、食に関わる方々に感謝の気持ちを持つことができるよう取り組みます。